

様式第3号 日程及び講師等一覧(介護員養成研修)

研修科目	研修項目	月日(曜日) 開始、終了時間	時間数	講師職名・氏名	講師の要件(該当するものに○をする)	実務経 験	開催場所	備考
1 職務の理解 (6時間)								
・必要に応じて施設見学の 実習を活用することも 可能。	(1) 多様なサービスの理解	8月21日(水) 9:00～12:40	3	川合 茂文	介護福祉士 社会福祉士 大学教授等	9	天神会研修室	
	(2) 介護職の仕事内容や 働く現場の理解	8月21日(水) 13:40～16:50	3	川合 茂文	介護福祉士 社会福祉士 大学教授等	9	天神会研修室	
2 介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)								
	(1) 人権と尊厳を支える介護	8月28日(水) 9:00～10:30	1.5 (7.5)	坂本 聡子	介護福祉士 社会福祉士 看護師 介護支援専門員 大学教授等	8	天神会研修室 (通信制)	
	(2) 自立に向けた介護			坂本 聡子	介護福祉士 社会福祉士 看護師 介護支援専門員 大学教授等	8	天神会研修室 (通信制)	
3 介護の基本 (6時間)								
	(1) 介護職の役割、専門性 と多職種との連携	8月28日(水) 10:40～12:10	1.5 (1.5)	吉田 千加子	介護福祉士 看護師 介護支援専門員 大学教授等	7	天神会研修室 (通信制)	
	(2) 介護職の職業倫理			吉田 千加子	介護福祉士 看護師 介護支援専門員 大学教授等	7	天神会研修室 (通信制)	
	(3) 介護における安全の 確保とリスクマネジメント	8月28日(水) 13:10～14:40	1.5 (1.5)	吉田 千加子	介護福祉士 看護師 介護支援専門員 大学教授等	7	天神会研修室 (通信制)	
	(4) 介護職の安全			吉田 千加子	介護福祉士 看護師 介護支援専門員 大学教授等	7	天神会研修室 (通信制)	
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間)								
	(1) 介護保険制度	8月28日(水) 14:50～16:20	1.5 (7.5)	滝井 美咲緒	社会福祉士 看護師 介護支援専門員 大学教授等	17	天神会研修室 (通信制)	
	(2) 医療との連携と リハビリテーション			滝井 美咲緒	社会福祉士 看護師 介護支援専門員 大学教授等 作業療法士 理学療法士	17	天神会研修室 (通信制)	
	(3) 障害福祉制度 およびその他制度			滝井 美咲緒	社会福祉士 看護師 介護支援専門員 大学教授等	17	天神会研修室 (通信制)	

様式第3号 日程及び講師等一覧(介護員養成研修)

研修科目	研修項目	月日(曜日) 開始、終了時間	時間数	講師職名・氏名	講師の要件(該当するものに○をする)	実務経 験	開催場所	備考
5 介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)								
	(1) 介護における コミュニケーション	9月4日(水) 9:00～10:30	3 (3)	小林 真由美	介護福祉士 看護師 大学教授等	12	天神会研修室 (通信制)	
	(2) 介護におけるチームの コミュニケーション	9月4日(水) 10:40～12:10		小林 真由美	介護福祉士 看護師 大学教授等	12	天神会研修室 (通信制)	
6 老化の理解 (6時間)								
	(1) 老化に伴うことと からだの変化と日常	9月4日(水) 13:10～14:40	3 (3)	原 真紀子	介護福祉士 看護師 医師 大学教授等	26	天神会研修室 (通信制)	
	(2) 高齢者と健康	9月4日(水) 14:50～16:20		原 真紀子	介護福祉士 看護師 医師 大学教授等	26	天神会研修室 (通信制)	
7 認知症の理解 (6時間)								
	(1) 認知症を取り巻く状況	9月11日(水) 9:00～10:30	3 (3)	坪井 陽子	介護福祉士 看護師 医師 大学教授等	6	天神会研修室 (通信制)	
	(2) 医学的側面から見た 認知症の基礎と健康管理			坪井 陽子	介護福祉士 看護師 医師 大学教授等	6	天神会研修室 (通信制)	
	(3) 認知症に伴うことと からだの変化と日常生活	9月11日(水) 10:40～12:10		坪井 陽子	介護福祉士 看護師 医師 大学教授等	6	天神会研修室 (通信制)	
	(4) 家族への支援			坪井 陽子	介護福祉士 看護師 医師 大学教授等	6	天神会研修室 (通信制)	
8 障害の理解 (3時間)								
	(1) 障害の基礎的理解	9月11日(水) 13:00～14:30	1.5 (1.5)	松山 里美	介護福祉士 社会福祉士 看護師 医師 大学教授等	8	天神会研修室 (通信制)	
	(2) 障害の医学的側面、 生活障害、心理・行動 の特徴、かかわり支援 等の基礎的知識			松山 里美	介護福祉士 社会福祉士 看護師 医師 大学教授等	8	天神会研修室 (通信制)	
	(3) 家族の心理、 かかわり支援の理解			松山 里美	介護福祉士 社会福祉士 看護師 医師 大学教授等	8	天神会研修室 (通信制)	

様式第3号 日程及び講師等一覧(介護員養成研修)

研修科目	研修項目	月日(曜日) 開始、終了時間	時間数	講師職名・氏名	講師の要件(該当するものに○をする)	実務経 験	開催場所	備考
9 こころとからだのしくみと生活支援技術 (75時間)								
<Ⅰ.基本知識の学習…10～13時間程度>								
	(1) 介護の基本的な考え方	9月11日(水) 14:40～16:40	2 (10)	田中 ひとみ	介護福祉士 社会福祉士 看護師 大学教授等	9	天神会研修室 (通信制)	
	(2) 介護に関するこころの しくみの基礎的理解			田中 ひとみ	介護福祉士 社会福祉士 看護師 大学教授等	9	天神会研修室 (通信制)	
	(3) 介護に関するからだの しくみの基礎的理解			田中 ひとみ	介護福祉士 社会福祉士 看護師 大学教授等	9	天神会研修室 (通信制)	
<Ⅱ.生活支援技術の講義・演習…50～55時間程度>								
	(4) 生活と家事	9月18日(水) 9:00～16:10	6	山城 富士子	介護福祉士 社会福祉士 看護師 大学教授等	14	天神会研修室	
	(5) 快適な居住環境整備と 介護	9月25日(水) 9:00～15:00	5	新谷 剛弘	介護福祉士 社会福祉士 看護師 大学教授等	9	天神会研修室	
	(6) 整容に関連したこころと からだのしくみと自立に 向けた介護	10月2日(水) 9:00～16:10	6	三宅 久美子	介護福祉士 社会福祉士 看護師 大学教授等	8	天神会研修室	
	(7) 移動・移乗に関連した こころとからだのしくみと 自立に向けた介護	10月9日(水) 10月16日(水) 9:00～16:10	12	高田 千恵美	介護福祉士 社会福祉士 看護師 大学教授等	13	天神会研修室	
	(8) 食事に関連したこころと からだのしくみと 自立に向けた介護	10月23日(水) 9:00～16:10	6	高木 祐樹	介護福祉士 社会福祉士 看護師 大学教授等 管理栄養士 栄養士	11	天神会研修室	
	(9) 入浴、清潔保持に関連 したこころとからだの しくみと自立に向けた介護	10月30日(水) 9:00～16:10	6	三木 和也	介護福祉士 社会福祉士 看護師 大学教授等	7	天神会研修室	
	(10) 排泄に関連したこころと からだのしくみと自立に 向けた介護	11月6日(水) 9:00～16:10	6	山岡 容子	介護福祉士 社会福祉士 看護師 大学教授等	18	天神会研修室	
	(11) 睡眠に関連したこころと からだのしくみと 自立に向けた介護	11月13日(水) 9:00～14:30	4.5	原 真紀子	介護福祉士 社会福祉士 看護師 大学教授等	7	天神会研修室	
	(12) 死にゆく人に関連した こころとからだのしくみと 終末期介護	11月13日(水) 14:40～16:10	1.5	田中 広美	介護福祉士 社会福祉士 看護師 大学教授等	11	天神会研修室	
<Ⅲ.生活支援技術演習…10～12時間程度>								
	(13) 介護過程の基礎的理解	11月20日(水) 9:00～11:00	2	山本 将利	介護福祉士 社会福祉士 看護師 大学教授等	7	天神会研修室	
	(14) 総合生活支援技術演習	11月20日(水) 11:10～16:35 11月27日(水) 9:00～12:35	8	山本 将利	介護福祉士 社会福祉士 看護師 大学教授等	7	天神会研修室	

様式第3号 日程及び講師等一覧(介護員養成研修)

研修科目	研修項目	月日(曜日) 開始、終了時間	時間数	講師職名・氏名	講師の要件(該当するものに○をする)	実務経験	開催場所	備考
10 振り返り (4時間)								
・必要に応じて施設見学の 実習を活用することも 可能。	(1) 振り返り	11月27日(水) 13:15～15:15	4	川合 茂文	<u>介護福祉士</u> 社会福祉士 大学教授等	9	天神会研修室	
	(2) 就業への備えと研修修了後 における継続的な研修	11月27日(水) 15:20～17:20		川合 茂文	<u>介護福祉士</u> 社会福祉士 大学教授等	9	天神会研修室	
修了評価(1時間)								
〈 全科目終了時に筆記試験により実施 〉		12月4日(水) 9:00～10:00	1					

注意事項

- 1 関連する講義と演習は、可能な限り一組で実施する等連続性に留意すること。
- 2 演習については講師1人につき受講者は25人までとする。(受講者が26人から50人までの場合は2人以上の講師で対応すること。)
- 3 講師の選定に当たっては講師の要件を確認すること
- 4 講師経歴書の内容を確認して記載すること。
- 5 実務経験年数は、講師の要件に関係する年数を記載すること。
- 6 研修を行う順序は「Ⅰ 職務の理解」を最初に行い、「10 振り返り」を最後に行うこと。
なお、「9 こころとからだのしくみと生活支援技術」については、「Ⅰ 基本知識の学習」、「Ⅱ 生活支援技術の講義・演習」、「Ⅲ 生活支援技術演習」の順に行うこと。